



2023ジェンダー平等ミーティング

ジェンダー平等ミーティング

令和5年度
若い世代からの
ジェンダー平等
推進事業

6月24日(土)テーマ

「ジェンダー平等って
なんですか？」



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



「ジェンダー平等ってなんですか？」

講師：櫻井彩乃さん（#男女共同参画ってなんですか 代表）

- ・「男だから」「女だから」はまだまだ残っている
- ・男女の生き方を決めつけることは、無意識のうちに誰かを傷つけるおそれがある
- ・いろいろな生き方が認められること、押しつけではなく自分で選べることが大事
- ・日本のジェンダーギャップ指数は、下がり続けている
日本は取り組みが遅い
他国はスピード感をもって取り組んでいる

「ジェンダー平等ってなんですか？」

②

講師：櫻井彩乃さん（#男女共同参画ってなんですか 代表）

- 女性議員の少なさ
どうして増えた方がいいのか
→ なかなか問題視されない「女性の健康」「妊娠・出産」「ハラスメント」などの 政策決定の場に女性が必要
- 就業者および管理的職業従事者に占める女性の割合
→ 諸外国と比べて低い水準
- 家族のカタチの変化
- 機会の面でも日本はまだまだジェンダー平等ではない

講義を受けての感想 ①

- ・データを見ると、男性の方が優遇されている
- ・日本はまだまだ遅れている
- ・1人ひとりがもう一度考え直すことが必要
- ・収入源が男性の方が有利
- ・他国のスピードが速い
- ・日本の国会議員の少なさがテレビからでも感じられる
- ・海外とのギャップがある

- ・日本は、ジェンダー平等について遅れている
- ・ジェンダー平等といっても、LGBTじゃなくて日常の中にある不平等に関して関心があったので興味があった
- ・女性の方に焦点を当てた話を聞いて関心を持てた
- ・学校でやっており、小学校にインタビューをした際に、進んでいると思っていたが、グラフを見ると進んでいないと感じた
- ・入試の減点や男性の姓になるのを知らなかった
- ・グラフはイメージどおり(ジェンダー不平等)

- ・女性の閣僚・政治家の少なさを問題提起しないのは違和感を感じた
- ・政治の世界に女性が少ないから、国全体がそうなっているのではないかと思った
- ・担任教科別のグラフは興味を持った
→あまり実感はなかったが、グラフを見てそうなんだと思えた
- ・「当たり前」だと思っていたことも、グラフを見ると違っていた
- ・データで示されている現実に対して、政治は後手に回っているという印象

世界と日本のジェンダー平等のためにできることは？ ①

- ・宗教と文化の理解
- ・小中高大の授業の中に必須にする
- ・幼稚園児など幼少期からジェンダー平等にふれてもらう
- ・テレビやラジオでジェンダー平等について発信するべきではないだろうか
- ・裁量権のある人にジェンダー平等を理解してもらう
- ・若者というより高齢者の方に考え方を浸透させることが必要
- ・会社でも、役割問わず全ての人が受けられる研修があれば

世界と日本のジェンダー平等のためにできることは？ ②

- ・学校教育とか、小学校のころから自分らしさに関する教育を積み重ねていくことでそういう考え方が当たり前になる社会になるのでは
- ・大人の凝り固まった偏見をなくせたらと思う
- ・祖母の世代では、化粧に対する偏見がある
- ・「無意識」にならない世界にする
無意識で行動してしまったときは、あやまる
- ・他の国を参考にする
- ・議員を半分減らし、若い世代にする

自分たちにできることは？ ①

- ・ジェンダー表現に気をつける
- ・身近な人の意識を変えていく
- ・選挙に行く
- ・SNSで発信すること
- ・ゼミ活動
- ・ミーティングのような活動を周知することが大事
- ・市民団体に参加する

自分たちにできることは？ ②

- ・イベントをしていることをSNSで発信すること
- ・自分が正しいことを学び、周りの人に話したり発信したりすることが大事
- ・センターの存在を知らない人が多いと思うので、ポスターなどで認知していくことが大切
- ・投票に行く
- ・家が居酒屋をやっているので周知していければと思う
- ・起業するか役員になる

自分たちにできることは？ ③

- ・祖父母に伝える
- ・子どもの教育を行う
- ・選挙、署名活動に参加する
- ・友人や家族とジェンダーについて話し合い理解を深め合う
- ・ことばの表現に気をつける
- ・幼少期の子たちに紙芝居をする
- ・行政に入る

自分たちにできることは？ ④

- ・政治家になってジェンダーについて深く知ってもらう
- ・偏見を書き出して、調べて、「なぜ？」を解明する
- ・学校で先生に話し合いの時間をつくってもらう
- ・「自分が伝えていく」という意識をもつ
- ・アンケートをして、思考する機会を提供する
- ・普段の会話に気をつける
- ・考え続けること、仲間をつくること